

## 令和7年度 北海道中標津高等学校シラバス

教科名	言語文化	単位数	2 単位	学年・学科	1 年 総合ビジネス科必修
教科書	第一学習社『高等学校言語文化』	副教材		『ネクスト常用漢字』(第一学習社) 『プレミアムカラー国語便覧』(数研出版)	
教科目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成し、論理的に考える力や深く共感したり、自分の思い・考えを伝えることができることを目標にしています。また、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。				
授業内容 進め方	教科書を中心に音読・黙読を行い、読解を通して文章に親しんでもらいます。また、単元に応じてグループ学習や作文などの活動により、自己の思考を深め表現する力を身につけ、他者と交流することで様々な考え方や自分の生き方・在り方を考えてもらいます。適宜、知識の定着を確認するため、漢字・古語・文法などの小テストを行います。				
授業の留意点	近代以降の文章では、文学作品を取り扱います。語彙力や漢字の読み書きを意識し、事前に本文に目を通し、わからない言葉や漢字は調べてください。古典では、古文・漢文を取り扱います。音読、語彙、文法と基礎知識が重要になりますので、事前に本文に目を通し、文章の読解力を身につけるよう努力しましょう。また、発表の時などは、間違えることを恐れずに積極的に自分の考えを表現しましょう。				
学習方法 (アドバイス)	事前にわからないことは自分で調べる習慣を身につけましょう。電子辞書やインターネットによる検索を有効活用してください。ただ、信憑性も含めて信頼できるものなのか違う意見や考え方がないかどうかを判断するように心掛けてください。また、あくまで主体性をもって授業に参加することが大切であり、「学びに向かう力」の評価内容となります。				
課題・補習	語句、文法、古語、漢字の読み書きなど適宜事前の学習を課すことがあります。日常では補習を行いませんが、必要に応じて行いますので留意してください。プリント等の課題については取組状況を観点別に評価します。				
試験について	単元テストを10回程度行います。その他必要に応じて小テスト等も行う予定です。				
評価の 観点・方法	評価の観点	評価方法			
	①知識・技能	語彙、文法、漢字等の実社会に必要な知識を身につけているか。適宜行う試験等による語彙、文法、漢字等の知識力を評価します。			
	②思考・判断・表現	文章をはじめとした情報を的確に読み取り、その内容を理解し、必要な情報を用い、場面や目的、課題に応じて適切な表現ができるか、また、他者との関わりを深めているかを評価します。定期試験の読解問題や記述問題、討議や発表の内容等が問われます。			
	③主体的に学習に取り組む態度	学習の見通しをもって、積極的に粘り強く取り組んでいるか、また、言葉を通して他者や社会に進んで関わろうとしているかなど、取り組みの状況を評価します。予習や復習、課題提出への取り組みの到達度や、グループワークでの積極的な発言や発言内容の工夫をしているかなども評価します。			
備考					